

マタ・ハリ (1964)

MATA-HARI AGENT H-21
MATA-HARI

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 フランス

色彩 B&W

時間 90分

初公開日 1965/11/06

公開情報 東京第一

【解説】

'31年にグレタ・ガルボも演じた、伝説的な女スパイの物語の再映画化。F・トリュフォーが製作にからんだヌーヴェルヴァーグ風マタ・ハリ伝とでもいうべき作品で、主演のモローの前夫だったJ=L・リシャールが監督した。ほとんど裸に近い艶かしい衣装で身をくねらせるモローのマタ・ハリが大変にセクシーで、その表現も懐古的で怪しい雰囲気いっぱい。その一方で、彼女が仏軍の大尉と逃避行を重ねる描写はごく自然で気負わず、それこそトリュフォー映画のようだった。この対比が本作の魅力の要である。

【クレジット】

監督	ジャン＝ルイ・リシャール	Jean-Louis Richard
脚本	フランソワ・トリュフォー	Francois Truffaut
	ジャン＝ルイ・リシャール	Jean-Louis Richard
撮影	ミシェル・ケルベ	Michel Kelber
音楽	ジョルジュ・ドルリュ	Georges Delerue
出演	ジャンヌ・モロー	Jeanne Moreau
	ジャン＝ルイ・トランティニャン	Jean-Louis Trintignant
	マリー・デュボワ	Marie Dubois
	クロード・リッシュ	Claude Rich
	フランク・ヴィラール	Franck Villard
	アルベール・レミー	Albert Remy